

果樹病虫害発生予察調査結果（9／10調査分）  
（三条、加茂、田上地域）

9月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

**（共通）**

- ナシ園地でナシヒメシンクイの誘殺数が増加傾向です。JAの防除情報等を参考にしながら、これから収穫を迎える品種への被害防止に努めましょう。
- 一部で、ハダニ類の発生が確認されています。来年の被害軽減のため、9月中旬頃までに主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付け、2月中旬までに外して処分するバンド誘殺を行い、越冬数を減少させましょう。ナシヒメシンクイ等にも有効です。
- 一部で、カイガラムシ類の発生や果実被害が確認されています。薬剤防除適期ではありませんので、寄生の多い枝はせん除するかブラシでこすり落とす等の対応をお願いします。なお、受粉樹も同様に対応をお願いします。

**（ナシ）**

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は依然として発生が増加しており、落葉・落果が多数確認されている園地もあります。次年度の菌密度を下げるため、満遍なく薬剤がかかるようSSの走行路に注意し、薬剤散布量を増やす等、丁寧な散布を心掛けましょう。また、ほうき枝等は随時整理しましょう。
- 一部で、黒星病の発生が確認されています。暑さが落ち着き雨が多くなると、翌年の感染源となる芽基部病斑が増加する恐れがあります。落葉まで防除を実施し翌年の感染源対策に努めましょう。

## (モ モ)

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- せん孔細菌病は全調査園地において、新梢葉への発病が確認されています。落葉期(10月下旬頃)まで収穫後防除を実施し、翌年の感染源対策に努めましょう。

## (ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 一部で、アザミウマ類による被害が確認されています。9月中旬ごろまで加害が続く恐れがありますので、周囲の品種の収穫日に注意しながら防除を実施しましょう。

次回調査は9月25日(水)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0258-36-8105 FAX : 0258-34-8020
---